

2020年度

大学院文学研究科博士課程後期3年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

筆記試験 日本史 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

受験記号番号	
--------	--

成	
績	

2020年度

大学院文学研究科博士課程後期3年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

筆記試験 (日本史 専攻分野)

左の問一～問三のうちから一問を選択して解答せよ。

問一 鎌倉幕府訴訟制度研究の現状と課題について述べた上で、自身の博士論文の構想について記せ。

問二 修士論文の研究成果を踏まえて博士論文の構想を具体的に記せ。さらにそれが日本近世史研究においてどのような積極的意義を持つと考えるのか、具体的に論述せよ。

問三 自らのこれまでの研究成果と博士論文の具体的な構想を説明し、日本近現代史研究の研究史の中でどのように位置づけられるのか、述べよ。また、その成果と構想は、今後の近現代史研究の全般的な動向に対して、どのような意義を与えることができるのか、いかに新しい歴史像を構築できると考えているのか、論述せよ。